

経 済 要 録

国 内

◆現行金利一覧

(6年9月16日現在) (単位 年%)

	金 利	実施時期 () 内 前回水準
公定歩合		
・商業手形割引歩合ならびに国債、 特に指定する債券または商業 手形に準ずる手形を担保とす る貸付利子歩合	1.75	5. 9. 21 (2.5)
・その他のものを担保とする 貸付利子歩合	2.0	5. 9. 21 (2.75)
短期プライムレート	3.0	5.12. 9 (3.375)
長期プライムレート	4.9	6. 9. 14 (4.7)
住宅ローン		
・固定金利型	5.82	6. 4. 11 (5.46)
・変動金利型	4.0	6. 9. 1 (4.4)
政府系金融機関の貸付基準金利		
・日本開発銀行	4.9	6. 9. 14 (4.7)
・中小企業金融公庫、国民金融公庫	4.9	6. 9. 14 (4.7)
・住宅金融公庫	4.15	6. 9. 13 (3.9)

	金 利	実施時期 () 内 前回水準
資金運用部預託金利 (期間3年～5年)	4.4	6. 8. 17 (4.00)
(期間5年～7年)	4.45	6. 8. 17 (4.05)
(期間7年以上)	4.5	6. 8. 17 (4.1)
銀行等の預貯金金利 (日本銀行のガイドライン利率)		
・普通預金	0.22	5.10. 18 (0.26)
・貯蓄預金 30万円タイプ	1.56	6. 9. 5 (1.56)
10万円タイプ	1.56	6. 9. 5 (1.56)
・定期積金	2.04	5.10. 18 (2.28)
・市場金利連動型定期積金		
3年未満	1.25	6. 9. 5 (1.21)
3年以上	1.35	6. 9. 5 (1.31)
・通知預金	0.47	5.10. 18 (0.51)
郵便貯金金利		
・積立貯金 (1年)	1.33	6. 9. 5 (1.29)
・通常貯金	1.32	5.10. 18 (1.56)

- (注) 1. 市中貸出金利の実施日は金利変更を最初に行った銀行のもの。ただし、短期プライムレートについては、都銀
の中で最も多くの銀行が採用したレート (実施時期は同採用レートが最多となった時点)。
2. 貯蓄預金については、郵便貯金においても通常貯蓄貯金として取り扱い。

◆公社債発行条件

		発行条件	改定前発行条件
国債(10年)	応募者利回り(%)	〈9月債〉 <u>4.632</u>	〈8月債〉 4.346
	表面利率(%)	<u>4.6</u>	4.4
	発行価格(円)	<u>99.78</u>	100.37
割引国債(5年)	応募者利回り(%)	〈9月債〉 <u>4.176</u>	〈7月債〉 3.859
	同税引後(%)	<u>3.345</u>	3.097
	発行価格(円)	<u>81.50</u>	82.75
政府短期証券(60日)	応募者利回り(%)	〈9月24日発行分〜〉 1.629	〈2月15日発行分〜〉 2.384
	割引率(%)	1.625	2.375
	発行価格(円)	99.7329	99.6096
政府保証債(10年)	応募者利回り(%)	〈9月債〉 <u>4.700</u>	〈8月債〉 4.472
	表面利率(%)	<u>4.7</u>	4.4
	発行価格(円)	<u>100.00</u>	99.50

(6年9月16日現在)

		発行条件	改定前発行条件
公募地方債(10年)	応募者利回り(%)	〈9月債〉 <u>4.714</u>	〈8月債〉 4.486
	表面利率(%)	<u>4.7</u>	4.4
	発行価格(円)	<u>99.90</u>	99.40
利付金融債(3年物)	応募者利回り(%)	〈9月債〉 <u>3.500</u>	〈8月債〉 3.300
	表面利率(%)	<u>3.5</u>	3.3
	発行価格(円)	100.00	100.00
利付金融債(5年物)	応募者利回り(%)	〈9月債〉 <u>4.000</u>	〈8月債〉 3.800
	表面利率(%)	<u>4.0</u>	3.8
	発行価格(円)	100.00	100.00
割引金融債	応募者利回り(%)	〈9月後半債〉 <u>2.155</u>	〈9月前半債〉 2.113
	同税引後(%)	<u>1.770</u>	1.729
	割引率(%)	<u>2.10</u>	2.06
	発行価格(円)	<u>97.89</u>	97.93

(注) 1. アンダーラインは今回改定箇所。

2. 利付金融債については募集債の計数。

海外

◆ブンデスバンク、流動性証券の発行中止を決定

ブンデスバンクは、8月19日、流動性証券(注)(Bulis<Bundesbank Liquiditaets U-Schaetzen>)の発行を中止することを決定した旨発表した。本件に関する対外公表文要旨は以下のとおり。

- (1) ブンデスバンクは、8月18日の中央銀行理事会で、定例的な流動性証券の発行を次回(9月発行予定)限りで中止することを決定した。
- (2) ブンデスバンクは、流動性証券の中止に際して、①流動性証券を利用してオープン

市場政策を導入するという本来的な金融政策の目的は達成できなかったこと、②第2次金融市場育成法に基づき導入が認められたマネー・マーケット・ファンド(MMF)により、金融市場に変化が生じたことを考慮した。

- (3) ブンデスバンクは、MMFに対する異議は撤回したが、基本的に留保を付している。したがって、ブンデスバンクは自らMMFのためにファシリティを提供するつもりはなく、また金融市場における短期金融商品へ

のシフトを助長するつもりもない。

- (4) ブンデスバンクは、公的部門が1年未満の債務を発行しないという方針を堅持し続けることを期待している。

(注) ブンデスバンクが金融調節を目的に発行する事実上の中央銀行負債証券(93年3月導入)。名目上の発行主体は連邦政府であるが、連邦政府は発行代り金を使用できず、償還義務もブンデスバンクが負うこととされている。

◆イングランド銀行、最低貸出金利を0.5%引き上げ

イングランド銀行は9月12日、最低貸出金利を0.5%引き上げて5.75%とする旨発表した(即日実施)。イングランド銀行による金利引き上げは、欧州通貨制度の緊張に伴う緊急利上げ(92年9月16日10.0%→12.0%、ただし翌日10.0%に再度引き下げ)を除けば、89年10月以来ほぼ5年ぶり。これを受けて、ロンドン手形交換所加盟大手銀行は、ベースレート(基準貸出金利)を0.5%引き上げ(5.25%→5.75%)、即日実施した。

本決定の背景として蔵相は、「力強い景気拡大が持続する中、インフレ圧力の台頭を未然に防止することを目的としたもの」と説明している。

◆香港銀行協会、預貸金金利を引き上げ

香港銀行協会は、8月22日、香港金融庁による流動性調節ファシリティ(LAF)^(注)金利の引き上げ決定(8月17日、引き上げ幅+0.5%)を受けて、銀行預金金利の0.5%引き上げを実施した。また、これを受けて主力3行(香港上海銀行、スタンダード・チャータード銀行、中国銀行)では、同日よりプライムレートを0.5%引き上げた。

香港金融庁では、今回のLAF金利引き上げは、

8月16日の米国の公定歩合引き上げを反映したものと説明している。

(注) 流動性調節ファシリティ(Liquidity Adjustment Facility)は、一時的な流動性不足に陥った銀行に対し、香港金融庁が、マーケット終了後に為替基金債・政庁債の現先によりオーバーナイトの資金供給・吸収を行う制度(92年6月8日導入)。

香港のLAFおよび預貸金金利の推移

(単位 年%)

		旧 金 利	新 金 利
L A F 金 利 (ビッド/オファー)		(94年5月18日決定) 2.50/4.50	(94年8月17日決定) 3.00/5.00
市 中 金 利		(94年5月23日実施)	(94年8月22日実施)
普通預金		2.50	3.00
定期 預金	1か月	3.75	4.25
	3か月	4.25	4.75
	6か月	4.50	5.00
	1 年	5.25	5.75
プライムレート		7.25	7.75

◆シンガポール政府、成長率見通しを上方修正

ゴ・チョクトン首相は独立記念日(8月9日)のメッセージにおいて、今年後半も米国および域内向け中心に輸出増加が見込まれることから、94年の政府成長率見通しを上方修正(昨年11月時点の政府見通し6~8%→9~10%)した旨発表した。

こうした景気拡大を受け、国内大手のユナイテッド・オーバーシーズ銀行では、8月19日、貸出プライムレートを0.25%引き上げた(5.50%→5.75%)。同行の同金利引き上げは、今次景気拡大局面では本年1月(5.00%→5.50%)に続き2度目。

◆タイの商業銀行、貸出プライムレートを引き上げ

タイの商業銀行では、①景気拡大に伴う貸出増加（5月末貸出残高前年比+24.7%＜預金残高同+14.0%＞）による資金繰り逼迫と、②一段のインフレ進行（1～7月のCPI前年比+4.9%＜前年同期+3.2%＞）を懸念する中央銀行の預貸金利引き上げ奨励を受けて、8月9日、貸出プライムレートを引き上げた（11.0%→11.5%）。

なお、今回の引き上げは年初来4回目、累計引き上げ幅は1.5%。

◆オーストラリア連邦準備銀行、政策金利を引き上げ

オーストラリア連邦準備銀行は、8月17日、オフィシャル・キャッシュ・レート（有担コールレート3か月物）の誘導目標を0.75%引き上げ5.50%とすると発表し、即日誘導を実施した。同行としては、89年10月以来、約5年ぶりの政策金利引き上げ。